

|         |             |           |                  |
|---------|-------------|-----------|------------------|
| 資料提供年月日 | 平成27年11月24日 |           |                  |
| 問い合わせ先  | 課名          | ESD推進課    |                  |
|         | 電話          | 直通<br>内線  | 803-1351<br>3761 |
| 担当者     | 職名<br>氏名    | 審議監<br>主任 | 安田 充年<br>小西 美紀   |

## 広 報 連 絡

(市長定例記者会見資料)

- 1 件 名 ESD岡山アワード2015の授賞事業決定について
- 2 内 容 ESD岡山アワード運営委員会(※)、岡山市が主催し、平成27年7月16日～9月25日に募集を行ったESD岡山アワード2015の授賞事業が下記のとおり決定しました。  
 <授賞事業>  
 (1) グローバル賞(国内外対象、応募件数50件)  
 ・ Library-oriented Community Learning Centers in Rural Cambodia  
 (カンボジア農村地域におけるコミュニティ図書館(CLC)事業)  
 ・ Sustainable Development through Protection and Conservation of Forests and Bio-diversity, Education, Society, Economy and Environment by Addressing the Negative Impacts of Climate Change  
 (気候変動がもたらす悪影響に対処するための森林と生物多様性の保全、教育、社会、経済、環境からの持続可能な開発に向けた取組)  
 (2) 岡山地域賞(岡山県内対象、応募件数30件)  
 ・ 岡山市京山地区 ESD プロジェクト  
 ・ 和気閑谷高校 高校魅力化事業  
 (地域連携/総合的な学習の時間「閑谷学」/教育活動全体でのESD推進等)
- 3 備 考 ・授賞事業の概要等は別紙をご参照ください。  
 ・贈呈式を平成27年12月13日(日)に中央公民館で予定しています。

(※) 国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)、ユネスコ・アジア太平洋地域教育局(ユネスコ・バンコク事務所)、公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)、公益財団法人 五井平和財団、岡山ESD推進協議会で構成

# ESD岡山アワード2015 授賞事業

## 《グローバル賞》

| 事業名   | 団体名  | 国           | 事業概要   |
|---|--|-------------|--|
| Library-oriented Community Learning Centers in Rural Cambodia<br>カンボジア農村地域におけるコミュニティ図書館(CLC)事業  | Shanti Volunteer Association (SVA)<br>公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 | カンボジア<br>日本 | 過去の戦乱の影響により、カンボジアの農村地域の住民の多くが読み書きに困難を抱え、日常生活にあらゆる支障をきたしている。本事業では、子どもから大人までが集い、学べる生涯学習の拠点としてコミュニティ図書館(CLC)を設立し、図書館活動を中心に、日常的に本や文字に触れる機会を提供することで識字の向上を図っている。また、住民のニーズに合わせ、生活向上のための体験学習である農業や保健・衛生の研修に加え、スポーツや文化活動にも力を入れている。「楽しく、快適で、実践的な」プログラムを通して、住民の自立を支援している。 |
| Sustainable Development through Protection and Conservation of Forests and Bio-diversity, Education, Society, Economy and Environment by Addressing the Negative Impacts of Climate Change<br>気候変動がもたらす悪影響に対処するための森林と生物多様性の保全、教育、社会、経済、環境からの持続可能な開発に向けた取組 | Dhaka Ahsania Mission (DAM)                                | バングラデシュ     | 気候変動による災害の影響を受けやすいバングラデシュの2つの地域を対象に、マングローブや森林、生物多様性の保全、環境教育等を通して気候変動の原因解消に向けて取り組むとともに、防災訓練などを通じて防災・減災意識を高める事業を展開している。また、生活支援や低金利の融資(マイクロファイナンス)、職業訓練等を通して、代替の生計手段獲得に向けた支援を行いながら、森林や生物多様性の保全の教育を行うなど、気候変動がもたらす悪影響をテーマに、様々な切り口からESDの取組を行っている。                    |

## 《岡山地域賞》

| 事業名  | 団体名             | 事業概要   |
|--|-----------------|--|
| 岡山市京山地区ESDプロジェクト                                   | 岡山市京山地区ESD推進協議会 | 2003年から公民館を拠点に、学校と地域が協働し、地域教育力の向上や地域コミュニティの絆を深める活動に取り組み、2006年には、学校、公民館、町内会、市民団体、企業等から構成される「岡山市京山地区ESD推進協議会」を設立した。「一人の百歩より百人の一步」を合言葉に、子どもから大人まで多世代が参画して地域全体でESDを推進している。<br>具体的には、「環境てんけん」、「源流体験エコツアー」や、毎年1000名以上が参加する「京山地区ESDフェスティバル」などを実施しており、地域住民の自主的・主体的な取り組みも生まれている。また、ESDの手法を取り入れて実現した、観音寺用水「緑と水の道」も成果の一つである。  |
| 和気閑谷高校 高校魅力化事業(地域連携／総合的な学習の時間「閑谷學」／教育活動全体でのESD推進等) | 岡山県立和気閑谷高等学校    | 和気閑谷高校は、日本最古の庶民の学校である「閑谷学校」を源流とする高校であり、以前から生徒会を中心に「閑谷ボランティアガイド」をはじめとするボランティア活動に積極的に取り組み、2011年には、ユネスコスクールに認定された。<br>本事業では、地域コミュニティの担い手となる人材育成、地域活性化、高校の魅力化に向けて、総合的な学習の時間に加え、特別活動、課外活動、町づくりへの参加等を通して教育活動全体でESDの推進を行っている。<br>具体的には、総合的な学習の時間「閑谷學」において、地域をテーマにした探求学習を行うほか、新たにESD同好会を設置して全校生徒がボランティア活動等に取り組んでいる。また、地域活性化に向けて、町役場や地域、小・中学校と連携し、高校生も参画して、地域の活性化に貢献する取組を行っている。 |